

国・静岡県の教育方針

国・静岡県の教育

- 学習指導要領の理念
- ・生きる力の育成
- ・主体的・対話的な深い学び
- ・社会に開かれた教育課程
- ・カリキュラムマネジメント
- ・ESD, SDGs
- ・個別最適化された学び
- ・ICT活用
- 有徳の人づくり
- 自分ごととして学ぶ子供

子どもの実態

- あいさつができる
- 天城学習で地域の課題を知っている
- きまりを守り正しい行動をする
- 係や委員会活動に責任をもって取り組んでいる
- 行事等で仲間との絆を深めている
- 楽しく学校生活を送っている
- 授業で考えを理解しようと話をしっかり聞いている
- 授業でははっきりと相手に伝わるように話している
- ▲家庭学習習慣が身に付いていない
- ▲自己肯定感・自己効力感がやや低い
- ▲悩みを相談できている

保護者・地域の願い

- ・地域の自然や文化を愛する子
- ・夢や目標をもって頑張る子
- ・思いやりのある子・あいさつできる子
- ・授業に意欲的に参加している子
- ・コミュニケーションができる子
- ・家庭学習をする子
- ・気軽に相談できる学校

伊豆市の教育方針

- 基本理念
- ・夢や希望を持って心豊かにたくましく生き抜く 未来を創造する 伊豆人づくり
- (知) 「生涯学び続ける力」「創造する力」を高める
- (徳) 「関わり合う力」「豊かな心」「社会性」を養う
- (体) 「健康や環境を適切に管理する能力」「健やかな体」を育てる

学校教育目標 **自ら学び 心豊かに たくましく生きる生徒**

重点目標

- (知) よく聴き よく伝え 深め合っている
- (徳) 自他を大切にして 様々な思いや考え方を尊重し合っている
- (体) 自ら行動している・自ら鍛えている

Plan

経営目標

「協働的な問題解決能力の育成」(生きる力の一つ)

(知) よく聴き よく考え 伝え合う生徒

- <研修> 「単元・授業」切なる問いをもち、対話的・協働的に問題解決している。
- <総合> 「天城学習 (ESD)」 「ふるさと伊豆・天城がいつまでも素晴らしい故郷であるためにはどうしていったらよいか」について協働的に考え追究している。

(徳) 自他を大切にして 様々な思いや考え方を尊重し合う生徒

- <道徳> 「道徳科」 B(9) 「相互理解・寛容」を重点項目として、考え、議論している
- <特活> 「生徒会・委員会・係活動、縦割り活動等」互いに担当を支え合う、リーダーシップ、フォローアップが行われている
- <保健> 「心の時間の充実」自分も相手も大切にする自己表現をしている
- <生指> 「リフレッシュタイム」(呼吸法) 落ち着いた心に戻し、自己を発揮している。

(体) 自ら行動する生徒、自ら鍛える生徒

- <特活> 「学級活動等」生活課題について協議に参画し、決定し、進んで行動している
- <生指> 「生活習慣」言われなくても正しく判断し、自ら行動している
- 「登下校」基礎体力作りのため歩く習慣が身に付いている (バス通以外の区間)
- <学習> 「家庭学習」基礎学力定着のため家庭学習の習慣化が図られている

本校の経営方針

(教職員の基本的な心構え・体制)

- (1) 人権感覚がある
- (2) 親身になる
- (3) 褒める・認める・価値づける
- (4) 授業で勝負
- (5) 意図的に仕掛ける
- (6) ユネスコスクールとしての誇りをもち、地域に開かれたESDの推進
- (7) 「何をするか」ではなく、「何のためにするか」
- (8) 報告・連絡・相談
- (9) 助け合う教職員集団 (生徒の協働の前に教職員の協働)

Do

(知)よく聴き よく考え 伝え合う生徒

* 授業の充実 (授業改善)

- ・単元を貫く問い、協働による問題解決場面の設定等
- 切なる問いを生み出す工夫
- 自分の考えを見つめる場と対話・協働し深める場の明確化
- ・振り返りの場面の設定

* 総合的な学習の時間「天城学習」の充実

- ・各ユニットを教員も生徒も3年間をつないだ見直しをもつ
- ・「天城学習」各ユニットの事前学習で「問い」をもち、情報の収集を行う
- ・学習のまとめ(掲示物の作成の充実)、発信する場の充実(全員による発表会)
- ・地域人材の効果的活用

(徳)自他を大切にして 様々な思いや考え方を尊重し合う生徒

* 自己理解・他者理解を深める道徳教育

- ・道徳教育及び道徳科の重点項目を「相互理解・寛容」とし、自己理解・他者理解を深め、寛容になる
- ・考え、議論する道徳科の授業
- ・伝え合い深め合える素地をつくる
- 道徳科、心の時間、学級活動 等

* 縦割り活動の充実

- ・リーダーシップ、フォローアップ
- ・目的意識がもてる縦割り活動の内容

* 教育相談の充実

- ・教育相談週間の時間確保(必ず良いところをほめる、生活習慣等の把握等)

* 「克己賞」の拡充

- ・誰にでも表彰、賞揚される機会があるようにする

* リフレッシュタイム

- ・年度当初の意義や方法の周知、放送の工夫

(体)自ら行動する、自ら鍛える生徒

* 生徒の思いを実現する行事

- ・生徒の思いを大切にしたい葵流祭、その他行事の実現 等

* 家庭学習の習慣化と充実

- ・計画性があり見通しが立つ家庭学習
- ・各教科の学校ワーク有効活用
- ・家庭学習時間の見える化と、自他を比較しての改善、以前の自分と比較しての自信につなげる指導
- ・自主勉強ノート等の紹介、展示

* 体力の向上

- ・規則正しい生活習慣(早寝早起き朝ご飯)
- ・コロナ禍における徒歩での登下校の奨励
- ・準備・片付けの時間短縮、限られた時間での部活動の充実

* 清掃活動の充実

- ・学年日課で清掃指導(清掃担当)
- ・学期始めや変わり目の清掃は20分

Check

「経営数値目標」(目指す子ども像)

- ・授業では、先生や友達の考えを理解しようと、話をしっかり聞いている。 (生徒 3.6→3.6 保護者 2.7→3.0 教員 3.1→3.3)
- ・授業では、先生や友達にはっきり伝えるように話している。 (生徒 3.4→3.5 保護者 3.1→3.2 教員 2.9→3.0)
- ・授業では友達と相談したり、意見を伝え合ったりして考えが深まることがよくある。 (生徒 3.5→3.5 保護者 3.1→3.2 教員 3.2→3.3)
- ・天城学習を通して、地域の課題を知ることができた。 (生徒 3.7→3.8 保護者 3.0→3.2 教員 3.3→3.4)
- ・あなたは、楽しく学校生活を送ることができている。 (生徒 3.5→3.5 保護者 3.3→3.5 教員 3.2→3.5)
- ・道徳の授業では、自分や友達の思いを大切にしてよりよい生き方について考えている。 (生徒 3.5→3.5 保護者 3.2→3.3 教員 3.2→3.3)
- ・自分にはよいところがある。 (生徒 3.0→3.2 保護者 3.1→3.2 教員 2.4→3.2)
- ・学校生活において、自分は役に立っていると思う。 (生徒 3.0→3.2 教員 3.2→3.4)
- ・縦割り活動は、他の学年と協力し合い、充実した活動ができている。 (生徒 3.5→3.5 保護者 3.1→3.2 教員 3.2→3.5)
- ・行事や学級活動等で、学級の仲間とのきずなが深まっている。 (生徒 3.6→3.6 教員 3.1→3.3)
- ・あなたの家庭学習は、1年生70分、2年生80分、3年生90分を上回っている。 (生徒 2.5→2.8 保護者 2.3→2.5 教員 2.4→2.6)
- ・夢や自分なりの目標をもって頑張っていることがある。 (生徒 3.4→3.5 保護者 3.1→3.5 教員→3.3)
- ・あなたは、早寝早起きをし、朝食を毎日食べている。 (生徒 3.5→3.5 保護者 3.2→3.5 教員 3.2→3.5)
- ・学校のきまりを守り、正しい行動がとれる。 (生徒 3.6→3.5 保護者 3.2→3.5 教員 →3.3)
- ・部活動(クラブ活動を含む)に積極的に参加している。 (生徒 3.5→3.5 保護者 3.1→3.5 教員 3.2→3.5)

<評価4段階>

Action

コミュニティスクール

家庭・地域・PTA

学校評議員会

学校関係者評価委員会

教育計画の修正(中期)

教育計画の修正(短期)